

当法人の理念は、「未来の世代により良い環境を引き継ぐことを目指して、環境教育および環境保全・創造活動を促進することで、私たち県民が持続的発展可能な循環型社会の実現に寄与する。」ことである。

したがって、長期的な視点に立ったゴールをおきながら、創造的な工夫を加え、他主体との連携の中で事業を効果的に進める。

「脱炭素とSDGsの達成を岩手から」

2019.11の地域循環共生圏フォーラムから掲げている

SDGsの達成に向けて、当初からの課題であるアイーナ（いわて県民情報交流センター）内「交流」の促進に向けて当センターがハブとなり、継続して県民活動交流センターなどアイーナ入居施設とのさらなる連携を進める

- ◎ アイーナ＝SDGs普及の拠点、**両センター＝アイーナのコア施設として**の自覚を持った上でさらなる認知度を高める（2019.7から開始したいわてSDGsカフェは、県内のSDGsに関する関心の求心力⇔発信力をますます高めている）
- ◎ 2023年度から新型コロナウイルスの取り扱いが第5類に移り、今年度は更に環境・生物多様性・気候危機の構造的な関連を踏まえて脱炭素化の加速につなげる**緑の復興(グリーンリカバリー)**の考え方を据えて取り組む。
- ◎ SDGsを連携の切り口として、今までにない多様な連携を生み出し、各地域にパートナーシップを進めるためのフラットな場づくりを継続して進める。
- ◎ 自治体の意向を踏まえ、必要に応じた温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けた支援・協力に取り組むと共に、市町村と住民をつなぐためのワークショップによる支援を進める。
- ◎ 水生生物調査の機会を通じて、川ゴミ、海ゴミ、プラゴミについての調査を進め、全県的なマップに集約する姿を目指す。
- ◎ 30by30アライアンス活動として、活動事例を1回／年報告し自然共生サイトの登録を目指す。
* 自然共生サイト：身近な自然も対象に、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域